

富士山の旅 良かった 最高!



第23回和歌山電商友の会 於 箱根 芦ノ湖

2014年01月27日

「よう誘ってくれたよ」「うわー！言葉出らんな」感嘆の声が湧き出ました。目の前に見る富士山は、まっこと感動的で神々しいものでした。TVや写真で見るとは別ものやね。世界遺産に認定されたのも、そらそうやろ。今回は山梨・神奈川・静岡側と3方からキレイなそれぞれの表情を拝むことができましたが、富士吉田市のホテルから見えた姿は格別。自分たちの居る裾野から真っ直ぐに頂上に向かってなだらかなラインが続くのですから、その姿に多くの皆さんが、うっとり。いよっ 日本一!!

素晴らしい晴天に恵まれ、芦ノ湖畔の遊覧クルーズやロープウェイでの山頂からの見晴らしなど本当に楽しんでいただけだと思います。私も念願の『大学箱根駅伝記念館』を一人こっそり訪ねて土産を買う時間が取れました。

車内では長時間でお疲れにならないように、わいわいとビンゴ大会や漢字読み当てやら、あの手この手と用意をしますが、こちらもなんだか嬉しくて到着がとても早く感じます。百円争奪じゃんけん大会は、結構皆さん力が入って、最後の4人程になると、もう気が引き締まりますね…?

お楽しみの大宴会では、出演者の為にと知恵を絞り、随分金をかけた首飾りのレイとクラッカーを見事にバスに忘れてしまい、他の電器屋さん



早朝6時 西部屋から



芦ノ湖 向こうは太平洋

から借りる始末。それでもフカミ代表歌手お二人の見事な歌唱は飛び抜けて喝采を受けられましたし、恒例になった感の、息子夫婦がトリを務める『皿回し』は大観衆をくぎ付けにしてくれました。最近では他の電器屋さんから「うちのお客様が皿回しを楽しみにしてるんで、ずっと深見さんと一緒に組で来たい」とか、「大ウケらしいですねえ。今度一緒に組ませてほしい」との要望がでるようなことになりました。

努力で会得した芸が、皆さまに喜んでもらえるのは本当に有難いことです。高校時代の同級生の女性がお二人、還暦の今、参加してくれたのも嬉しい思い出。アクシデントがもう一つ。車内での事前販売で、随分多くの土産を注文していたのに、先方のミスで商品が2割程度しか用意できて無く、揃う迄大騒ぎの中、出発が遅れてしまいご迷惑をおかけしたこと。(後日、旅行社・土産店から謝罪がありました) そんなこともありましたが、参加されたお客様から、恐縮するほどにお喜びの言葉を頂きました。私等自身も案外、気を抜いて楽しんでますのでお気遣いなく、嬉しいかぎりです。お客様と、このようなお付き合いが出来るのを思うと、両親の始めた『商売』を続けて本当に良かったと、最近つくづく実感しています。

一月は 皿回し、そして町内を駆け回る

「第19回 紀州口熊野マラソン」2月1・2日に開催されました。年々増える参加者は5000人を超え、いまや上富田町の一大イベントです。元氣は5回目のフルマラソンの出場でした。半端ではない練習時間を要するので今年で引退しようかと勝手に決めてたのですが、いやいや、地元のイベントということで年末でストップしていた練習を2週間前に再開、重い体にムチを打って大会に出ました。大会当日は最高気温20℃の暑い中開催されました。冬支度で来たランナーにとっては過酷な状況で、汗だくの方が多く見受けられました。レース中、可愛いウサギの着ぐるみランナーがいました。振り返ると40代ぐらいの汗だくのおいやん(じぇじぇ!)。他にも仮装ランナーが沢山いて楽しめました。さて、自身のタイムの方は? 始め10キロぐらいをゆっくり走っていたのですが、調子が良くてゴールまでペースアップして走ることができました。暑かったけど、気持ちよかったです!(九州人だから?) タイムは4時間58分! 初めて5時間を切ることができました! 他人に自慢できるタイムではないのですが、進歩できたということで自分に拍手。パチパチパチ。沿道で声をかけてくださった皆様、ご声援が力になりました本当に有難うございました。またボランティアの方々、大会運営者の方も快適な運営有難うございました。



夫婦皿回し 7枚に挑戦



5時間切った やったぜー!